

令和元年度第1回霧島市地域公共交通会議 会議要旨

開催日時	令和元年5月30日(木) 10:30~11:35		
開催場所	霧島市役所 別館 4階 大会議室		
出席委員	山口会長、岩井田委員、諸留委員、西委員、福森委員、有村純徳氏(有村純太郎委員代理)、中村博人委員、大坪委員、迫田委員、福重委員、中原委員、中村博美委員、鎌田氏(末吉委員代理)、鐘ヶ江委員、鬼塚委員、西森氏(松尾委員代理)、新地氏(印南委員代理)、鶴田委員、原田氏(齊協委員代理)、川東委員、宮内委員、中堀委員、新町委員、有馬委員、茶園委員、武田委員、猿渡委員、中馬委員 以上28人		
事務局	出口地域政策課長、岡留地域政策グループ長、甲斐地域政策グループ主査(計3人)		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
議 事	<p>議案第1号 市街地循環バスの見直しについて</p> <p>議案第2号 国分ふれあいバス路線の一部変更について</p> <p>議案第3号 令和元年度霧島市地域公共交通網形成計画推進事業案について</p> <p>議案第4号 生活交通確保維持改善計画案について</p>		
その他	霧島市地域公共交通網形成計画の改訂について		
審議結果などの概要	<p align="center">園：委員 ㊦：事務局</p>		
◇議 事	<p>議案第1号 市街地循環バスの見直しについて</p> <p>→事務局が資料に沿って説明。委員からの質問はなく原案のとおり承認。</p> <p>議案第2号 国分ふれあいバス路線の一部変更について</p> <p>→事務局が資料に沿って説明。委員からの質問はなく原案のとおり承認。</p> <p>議案第3号 令和元年度霧島市地域公共交通網形成計画推進事業案について</p> <p>→事務局が資料に沿って説明。委員からの質問はなく原案のとおり承認。</p> <p>議案第4号 生活交通確保維持改善計画案について</p> <p>→事務局が資料に沿って説明。原案のとおり承認。委員からの質問は次のとおり。</p> <p>園ふれあいバスに国庫補助がある路線とない路線があるが、この違いは何か。</p> <p>㊦国庫補助の要件の中に、新規性の要件というのがあり、それに該当するもののみ、国庫補助が入っている。本日、委員として鹿児島運輸支局からも出席していただいているため、補足等があればお願いしたい。</p> <p>園利用者の利便性の向上を図るなどを目的に、今までの系統を見直したものなど、一定の要件を満たしたものが補助対象となっている。</p> <p>園近年は高齢者の事故など、痛ましい事件が頻繁におきている。免許返納を促すにしても、ふれあいバス等の公共交通の受け皿が充実していることが必須である。運賃収入がこれだけ少</p>		

ないと市の財政負担も増え、バス事業の継続も厳しいと思う。新規路線だけではなく、今後、もっと補助を拡充することも視野に入れるべきではないか。今、高齢者の交通事故が頻繁に起きているという時期であるからこそ、公共交通を充実させる必要がある。

- 今回、霧島ふれあいバスの非常に利用が少なかった路線について、5月末をもって廃止を行い、6月からデマンド交通へ移行することとなったため、報告をしておく。

◇その他

・霧島市地域公共交通網形成計画の改訂について

→事務局が資料に沿って説明。主な意見等は次のとおり。

●公共交通網形成計画に記載があるのは、ほとんどバスである。霧島市内でタクシーを頼りにしている高齢者等は非常に多いが、タクシー業界も経営が非常に厳しい状況である。事業を継続させるのは大変なことであり、タクシー事業所も減少の一途をたどっている。この地域でも半数以上が廃業となっている。ふれあいバスも大事であるが、タクシーの利活用についても市のほうで、もう少し検討いただければ我々ががんばっていける。公共交通網形成計画の中にタクシーのことがほとんど触れられていないと感じた。次に作られるときは、タクシーの維持・存続についても計画に盛り込んでいただけるとありがたい。

- 我々もタクシーは公共交通機関の一つであるとしっかり認識している。はり・きゆうチケットの利用範囲であるとか、様々な市政の情勢等もある。今回は公共交通網形成計画改訂のちょうどいいタイミングであるため、様々な補助事業、或いは直接的な事業、また国県等の様々な補助事業、その他、企画部ではなく全庁的な支援事業もある。財政シミュレーション等を行いながら、どのような形で運行が住民ニーズにしっかりと合い、無駄なく、効率よい運行ができるのか、また、交通事業者の皆様にも喜んでいただけるような交通施策のあり方について、今後、市民の皆様や事業者の皆様の声もお聞きしながら、今回の改訂に臨んで参りたい。

●最近是非常に痛ましい交通事故が相次いでおり、小さな子どもさんたちが犠牲になっている。先日、ニュースで免許返納者に対し、タクシー利用料金の4分の3を自治体が負担するというものを目にした。このような支援があると免許を返納する方が多くなり、交通事故の発生を未然に防ぐことができるのではないかと思う。4分の3となると大きな財政負担になってしまうが、そういうものも検討していただけるとありがたい。

- 全国的にこのような痛ましい交通事故が多発する中で、県警と連携を取りながら免許返納の啓発に努め、このような事故がおこらないように努めるということは当然であると考えている。一方で、返納された方のその後の交通手段はどうするのかというのは大きな課題である。まずは既存の支援制度等を市民の皆様知っていただくということが大前提であるが、今後、関係各課と十分に協議をしながら、全国の先進事例を含めて、どのような対応ができるか十分に検討して参りたい。

●昼間はバスも走っているが、この広い霧島温泉の観光地エリアの中に夜はタクシーの待機が1台か2台という大変な状況になっており、お客さんも非常に不便を被っている。地域住民も、いざ何かあった場合は、タクシーが最後の命綱であるため、困ると思う。観光客と地域住民がタクシーを取り合っている状況でもある。観光路線分科会においてもこれまでは観光バスだけがクローズアップされていたようであるが、ぜひ、タクシーの利活用を含めた夜間の観光交通を検討していただいて、計画に盛り込んでいただきたい。できれば本年8月に予定されている観光路線分科会の前に、商工観光部も含めて勉強会みたいな

ものも開催していただけるとありがたい。

●ただいまご意見があったとおり、分科会を開催し、皆様方の幅広いご意見をお聞きしながら新しい公共交通網形成計画の策定に向けて議論していきたいと思う。新たな課題も出てきているようであるため、今後ともご協力をいただきたいと思う。

●市街地にある国分高校、国分中央高校に通う生徒の中に溝辺方面から通う生徒がいるが、彼らの通学時の課題として、空港でバスを乗換える必要があるというものがある。前々から保護者や学校から要望がある。溝辺から国分まで直行便を走らせるというのはハードルが高いと思うが、今後、検討・調整していただけるとありがたい。

●先般も溝辺地区の公民館長さんたちとお話をする機会があったが、このことは以前からの大きな課題だということでご提言をいただいた。これまでも市長が直接、高校生やPTAの皆様と語る機会があったが、その中で、朝はバスで高校まで行けるが、帰りは加治木駅経由で帰っているケースもあると聞いている。過去には市長が直接、バス会社の社長へ直行便運行のお願いをした経緯もあったが、バス事業者の歴史的なものもあり、なかなか実現できていない状況である。今回、公共交通網形成計画の改訂の時期でもあるため、生活路線分科会の協議になろうかと思うが、なんとか知恵を出しながら、相互乗り入れや、ふれあいバスでの対応など、色々な手法があろうかと思うので、十分に検討していきたい。このことは、以前からの重要課題であると認識しているため、なんらかの対応ができればと思っている。今後、バス事業者へお願いをすることもあろうかと思うが、その際はよろしくお願ひしたい。

会長 ただいまご意見がいくつか出たようであるが、バス、タクシー、鉄道、それぞれの強みを活かし、また、弱みを補完し合いながら、地域の公共交通を充実していけたらと思っている。今回いただいたご意見なども踏まえて、事務局のほうで公共交通網形成計画改訂の作業をお願いしたい。

・その他

●昨年6月に本公共交通会議の承認を受け、「平成30年10月から本年9月まで」の計画期間である「平成31年度フィーダー系統確保維持計画認定申請書」を国土交通大臣宛に提出していたところであるが、本年6月から新たに霧島地区の狭名田・野上地区において、デマンド交通の運行を開始することとなったことから、「第一交通株式会社」を補助対象事業者とし、「狭名田・野上線」を補助対象路線として当計画に追加し、本年4月10日付けで変更認定申請を行ったため、ご報告しておく。